

第11回

HAKUMON Chuo 書展

中央大学書道會

書く楽しさ、見る楽しさ、誌上書展

こんにちは、中央大学書道會です。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

書道會は1930年から続く大学公認の伝統的なサークルで、中大で唯一、書道に取り組む集まりです。入会すると文字がうまくなります。「動」と「静」が織り成す書道の魅力に惹かれ、書道パフォーマンスや書展を通して多くの人と接し、人間力も高まることでしょう。未経験者でも心配ありません。大歓迎です！

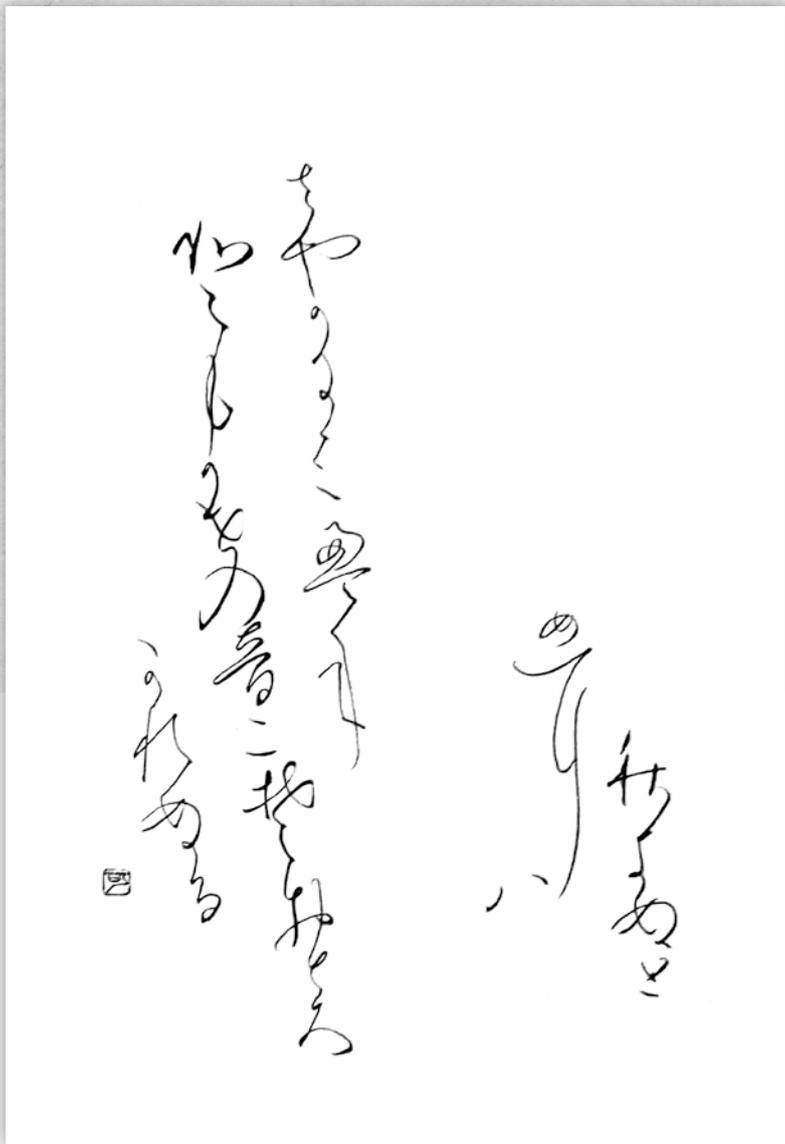
先輩たちの力作3点をご覧ください。

◎創「与君一夕語、勝読十年書」

法学部4年 江口智

訳「君と語り明かした一夜は、十年の読書にも勝る」  
後悔しないなんて無理だ。後悔してばかりだけど、振り返ると眩しいくらいに輝いている。そんな大学生生活を送ろう。





◎創「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」藤原敏行

経済学部4年 志賀可奈子

墨の濃淡が上手く表現出来ませんでした。  
今回の反省をこれからの作品に活かしていこうとおもいます。

多宝塔品身心泊然  
如入禅定忽見見

惠莉香  
人見

◎臨 顔真卿「多宝塔碑」

法学部2年 人見惠莉香

一文字一文字が太く、真っ直ぐという特徴に気をつけて臨書しましたが、まだまだ改善点が多いことを実感しました。